

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月14日
【四半期会計期間】	第65期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	株式会社イワキ
【英訳名】	I W A K I C O . , L T D .
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤中 茂
【本店の所在の場所】	東京都千代田区神田須田町二丁目6番6号
【電話番号】	( 0 3 ) 3 2 5 4 - 2 9 3 1 ( 代表 )
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理本部長 井上 誠
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区神田須田町二丁目6番6号
【電話番号】	( 0 3 ) 3 2 5 4 - 2 9 3 1 ( 代表 )
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理本部長 井上 誠
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 ( 東京都中央区日本橋兜町2番1号 )

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第64期 第2四半期 連結累計期間	第65期 第2四半期 連結累計期間	第64期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年9月30日	自2019年4月1日 至2019年9月30日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (千円)	14,704,642	14,086,741	29,171,774
経常利益 (千円)	1,533,958	1,243,580	2,847,846
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	1,068,306	1,024,541	2,163,452
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	978,557	713,726	2,096,482
純資産額 (千円)	19,300,306	19,991,726	20,148,347
総資産額 (千円)	29,400,969	29,537,396	30,463,596
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	47.55	46.22	96.25
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	65.0	67.0	65.5
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	419,722	1,001,545	1,827,749
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	1,344,375	210,452	1,793,632
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	420,762	705,722	724,661
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	4,620,245	5,717,131	5,252,576

回次	第64期 第2四半期 連結会計期間	第65期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2018年7月1日 至2018年9月30日	自2019年7月1日 至2019年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	25.70	27.91

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

##### 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における国内の経済環境は、雇用・所得環境の改善が続く中で緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、通商問題を巡る緊張の増大が世界経済に与える影響や中国経済の先行きなど海外経済の不確実性が懸念されており、景気の先行きが不透明な状況が続いております。

こうした状況の下、国内においてはユーザーの囲い込み及び顧客要求に応じた製品開発を行い、「CS向上で勝負」を基本方針に活動してまいりました。また、海外においては世界15カ国21社の関係会社と連携を図り、販売を拡大してまいりました。

その結果、市場別では主に医療機器市場、水処理市場、化学市場が前年同期比増収で推移しましたが、半導体・液晶市場は、前四半期に続き、半導体関連の投資延期の影響で不調でありました。関連する表面処理装置市場は、前四半期の水準より若干改善したものの、弱含みで推移いたしました。

地域別では、国内は、半導体・液晶市場が不調、表面処理装置市場が低調に推移し、売上高は8,586百万円（前年同期比5.6%減）となりました。欧州地域は、新エネルギー市場が大きく伸びましたが、その他市場の落ち込みの結果、売上高は1,423百万円（前年同期比0.3%減）となりました。米国は水処理市場が順調、化学市場が好調に推移し、売上高は2,050百万円（前年同期比13.7%増）となりました。アジア地域は、半導体・液晶市場が不調に推移し、売上高は1,004百万円（前年同期比25.3%減）となりました。また、中国は医療機器市場が好調に推移し、売上高は583百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

製品別では、引き続き主力製品である定量ポンプは堅調で、マグネットポンプも微減ではありますが前年同期並みの水準で推移しました。医療機器市場向けのエアポンプは順調に推移しました。一方、半導体関連の投資延期の影響で半導体・液晶市場向けの空気駆動ポンプは不調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結売上高は14,086百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

利益面では、経費削減に努めたものの売上減収の影響が大きくその結果、営業利益は1,041百万円（前年同期比13.9%減）、経常利益は1,243百万円（前年同期比18.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,024百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

また、当社グループはケミカルポンプ事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

##### 財政状態の分析

##### （資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は21,172百万円となり、前連結会計年度末に比べ267百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が427百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が735百万円減少したことによるものであります。固定資産は8,364百万円となり、前連結会計年度末に比べ658百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が716百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、29,537百万円となり、前連結会計年度末に比べ926百万円減少いたしました。

##### （負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は7,868百万円となり、前連結会計年度末に比べ808百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が541百万円、賞与引当金が242百万円、役員賞与引当金が108百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,676百万円となり、前連結会計年度末に比べ39百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、9,545百万円となり、前連結会計年度末に比べ769百万円減少いたしました。

##### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は19,991百万円となり、前連結会計年度末に比べ156百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が644百万円増加した一方で、自己株式の取得により475百万円、その他有価証券評価差額金が134百万円、為替換算調整勘定が166百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は67.0%（前連結会計年度末は65.5%）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は5,717百万円となり、前連結会計年度末に比べ464百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少、法人税等の支払等の減少要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益の計上、売上債権の減少等の増加要因により1,001百万円の資金増加（前年同四半期は419百万円の資金増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入、投資有価証券の売却による収入等により210百万円の資金増加（前年同四半期は1,344百万円の資金減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出、配当金の支払等により705百万円の資金減少（前年同四半期は420百万円の資金減少）となりました。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、323百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	81,000,000
計	81,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月14日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	22,490,910	22,490,910	東京証券取引所 (市場第一部)	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
計	22,490,910	22,490,910	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	22,490,910	-	1,044,691	-	664,691

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式(自己株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
株式会社藤中ホールディングス	東京都練馬区高野台3丁目30-12	2,700,000	12.26
イワキ従業員持株会	東京都千代田区神田須田町2丁目6-6	2,005,940	9.10
藤中 義昭	東京都練馬区	1,779,360	8.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海1丁目8-11	1,531,200	6.95
藤中 茂	東京都練馬区	1,315,232	5.97
藤中 留美	東京都練馬区	1,293,900	5.87
イワキ産業株式会社	東京都練馬区大泉学園町6丁目15-34	856,750	3.89
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店 セキュリティーズ業務部長 石川 潤)	BAHNHOFSTRASSE 45, 8001 ZURICH, SWITZERLAND (東京都新宿区新宿6丁目27-30)	481,800	2.18
上條 照彦	東京都三鷹市	450,000	2.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)取締役社長 成瀬浩史	東京都港区浜松町2丁目11番3号	412,200	1.87
計	-	12,826,382	58.20

(注) 1 上記のほか当社所有の自己株式465,389株あります。

2 藤中義昭は2019年8月4日に逝去されましたが、相続に伴う名義書換が未了のため、2019年9月30日時点の株主名簿に基づき記載しております。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 465,300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,021,500	220,215	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 4,110	-	-
発行済株式総数	22,490,910	-	-
総株主の議決権	-	220,215	-

(注) 「単元未満株式」の欄には、自社名義の株式が89株含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
(自己保有株式) 株式会社イワキ	東京都千代田区 神田須田町 2丁目6-6	465,300	-	465,300	2.07
計	-	465,300	-	465,300	2.07

(注) 当社は、単元未満自己株式89株を保有しております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	5,580,286	6,008,163
受取手形及び売掛金	1 6,873,408	6,138,233
電子記録債権	1 2,738,020	2,815,297
有価証券	55,846	54,450
商品及び製品	2,214,986	2,225,747
仕掛品	29,785	36,274
原材料及び貯蔵品	3,522,791	3,535,738
その他	446,732	382,450
貸倒引当金	21,831	23,855
流動資産合計	21,440,024	21,172,501
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	7,304,024	7,347,066
減価償却累計額及び減損損失累計額	3,646,791	3,738,891
建物及び構築物(純額)	3,657,232	3,608,175
機械装置及び運搬具	2,676,850	2,737,105
減価償却累計額及び減損損失累計額	2,247,889	2,312,175
機械装置及び運搬具(純額)	428,960	424,930
工具、器具及び備品	1,795,534	1,841,415
減価償却累計額及び減損損失累計額	1,465,444	1,502,064
工具、器具及び備品(純額)	330,089	339,351
土地	1,041,879	1,039,655
リース資産	338,538	354,668
減価償却累計額	185,666	207,286
リース資産(純額)	152,872	147,382
建設仮勘定	11,071	11,553
その他	27,178	28,506
減価償却累計額	19,444	20,428
その他(純額)	7,733	8,077
有形固定資産合計	5,629,839	5,579,126
<b>無形固定資産</b>		
のれん	2,772	2,268
商標権	58,573	51,141
その他	132,297	198,025
無形固定資産合計	193,643	251,435
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,275,208	1,558,753
繰延税金資産	634,431	685,290
その他	290,448	290,289
投資その他の資産合計	3,200,088	2,534,333
固定資産合計	9,023,571	8,364,895
資産合計	30,463,596	29,537,396

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	5,184,397	4,642,694
短期借入金	951,205	1,136,492
リース債務	64,978	60,457
未払法人税等	250,186	313,777
賞与引当金	881,140	638,456
役員賞与引当金	140,000	31,975
製品保証引当金	97,261	83,220
その他	1,108,559	961,750
<b>流動負債合計</b>	<b>8,677,727</b>	<b>7,868,824</b>
<b>固定負債</b>		
リース債務	106,058	105,108
役員退職慰労引当金	51,687	51,687
退職給付に係る負債	659,105	653,111
資産除去債務	184,387	185,235
その他	636,283	681,704
<b>固定負債合計</b>	<b>1,637,521</b>	<b>1,676,845</b>
<b>負債合計</b>	<b>10,315,249</b>	<b>9,545,669</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,044,691	1,044,691
資本剰余金	664,691	666,367
利益剰余金	17,687,437	18,331,891
自己株式	559	475,730
<b>株主資本合計</b>	<b>19,396,260</b>	<b>19,567,219</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	232,113	97,277
為替換算調整勘定	241,969	75,144
退職給付に係る調整累計額	81,877	63,511
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>555,960</b>	<b>235,934</b>
非支配株主持分	196,127	188,572
<b>純資産合計</b>	<b>20,148,347</b>	<b>19,991,726</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>30,463,596</b>	<b>29,537,396</b>

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	14,704,642	14,086,741
売上原価	9,568,868	9,240,702
売上総利益	5,135,774	4,846,039
販売費及び一般管理費	3,926,016	3,804,522
営業利益	1,209,758	1,041,516
営業外収益		
受取利息	13,358	5,846
受取配当金	23,273	16,499
持分法による投資利益	312,769	221,404
その他	33,826	19,011
営業外収益合計	383,227	262,762
営業外費用		
支払利息	15,516	16,067
為替差損	6,609	28,574
事業所移転費用	30,900	-
その他	6,000	16,056
営業外費用合計	59,027	60,698
経常利益	1,533,958	1,243,580
特別利益		
固定資産売却益	-	9,111
投資有価証券売却益	-	153,234
特別利益合計	-	162,345
特別損失		
固定資産除却損	1,722	301
投資有価証券売却損	-	8,756
特別損失合計	1,722	9,058
税金等調整前四半期純利益	1,532,236	1,396,868
法人税等	452,837	362,784
四半期純利益	1,079,399	1,034,083
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,092	9,542
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,068,306	1,024,541

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,079,399	1,034,083
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,843	134,795
為替換算調整勘定	114,673	109,750
退職給付に係る調整額	4,072	18,365
持分法適用会社に対する持分相当額	18,083	57,445
その他の包括利益合計	100,842	320,356
四半期包括利益	978,557	713,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	968,729	704,515
非支配株主に係る四半期包括利益	9,827	9,211

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,532,236	1,396,868
減価償却費	272,240	305,956
のれん償却額	504	504
貸倒引当金の増減額(は減少)	263	2,744
賞与引当金の増減額(は減少)	100,089	242,398
役員賞与引当金の増減額(は減少)	67,759	107,356
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	9,515	31,859
受取利息及び受取配当金	36,631	22,345
支払利息	15,516	16,067
投資有価証券売却損益(は益)	-	144,477
為替差損益(は益)	2,880	8,434
持分法による投資損益(は益)	312,769	221,404
売上債権の増減額(は増加)	136,540	619,149
たな卸資産の増減額(は増加)	139,149	92,018
仕入債務の増減額(は減少)	126,242	513,203
未払金の増減額(は減少)	110,076	74,281
未払費用の増減額(は減少)	37,070	103,340
その他	195,858	149,687
小計	564,679	929,855
利息及び配当金の受取額	415,946	380,600
利息の支払額	13,743	12,402
法人税等の支払額	547,160	296,508
営業活動によるキャッシュ・フロー	419,722	1,001,545
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	23,145	91,282
定期預金の払戻による収入	-	123,598
有形及び無形固定資産の取得による支出	1,296,434	332,319
有形及び無形固定資産の売却による収入	167	10,077
投資有価証券の売却による収入	-	529,817
その他	24,963	29,439
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,344,375	210,452
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	223,814
リース債務の返済による支出	29,287	33,350
自己株式の取得による支出	78	500,088
配当金の支払額	363,415	379,332
非支配株主への配当金の支払額	27,980	16,765
財務活動によるキャッシュ・フロー	420,762	705,722
現金及び現金同等物に係る換算差額	831	41,719
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,344,583	464,555
現金及び現金同等物の期首残高	5,964,829	5,252,576
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,620,245	5,717,131

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の前連結会計年度末日満期手形等が前連結会計年度末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
受取手形	87,319千円	- 千円
電子記録債権	39,564	-

2. 当座貸越契約及びコミットメントライン契約

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うために取引銀行5行と当座貸越契約及びコミットメントライン契約を締結しております。これらの契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
当座貸越極度額及びコミットメントライン 契約の総額	6,250,000千円	6,250,000千円
借入実行残高	-	-
差引額	6,250,000	6,250,000

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
給料及び賞与	1,262,886千円	1,302,855千円
賞与引当金繰入額	359,666	291,160
役員賞与引当金繰入額	30,068	32,643
退職給付費用	61,440	44,459
貸倒引当金繰入額	156	2,724
のれん償却額	504	504

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
現金及び預金勘定	4,929,960千円	6,008,163千円
預入期間が3か月を超える定期預金等	309,715	291,031
現金及び現金同等物	4,620,245	5,717,131

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	363,732千円	48円60銭	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年11月12日 取締役会	普通株式	269,884千円	12円00銭	2018年9月30日	2018年12月3日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	380,087千円	16円90銭	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月14日 取締役会	普通株式	286,331千円	13円00銭	2019年9月30日	2019年12月2日	利益剰余金

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2019年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式484,500株の取得を行いました。また、2019年7月19日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として、当社の取締役(社外取締役を除く)及び幹部社員に対して、自己株式24,376株の処分を行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が475,170千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が475,730千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ケミカルポンプ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益	47円55銭	46円22銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,068,306	1,024,541
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,068,306	1,024,541
普通株式の期中平均株式数(株)	22,465,647	22,167,878

(注) 1. 当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2019年11月14日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....286,331千円

(ロ) 1株当たりの金額.....13円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2019年12月2日

(注) 2019年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月14日

株式会社イワキ  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 栗原幸夫 印  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 今井仁子 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社イワキの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社イワキ及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。